



農山村の地域資源を次世代に

『都市と農村をつなぐボランティア活動』

とちぎ 夢 大地応援団

—とちぎ夢大地応援団ジュニア育成活動—

子供達に農業や農村の果たす役割について関心を持ってもらうため、小学生と保護者による農業体験や環境保全活動を行いました。

場所：茂木町木幡 昭和ふるさと村

(第1回) 5/29

茶摘み・こんにゃく玉植え付け



(第3回) 10/30

こんにゃくづくり・思い出集づくり



(第2回) 9/25 稲刈り・生き物調査



地域通貨(芦野地区)

地域通貨

今年で2年目、大木須・国見・芦野・河又・小貫・下平の6地区で参加応援団員にプレゼントされ、地元の新鮮な野菜の購入などに使われました。

はばたけ夢大地

第10号 2011/2

とちぎ夢大地応援団事務局
(財) 栃木県農業振興公社
栃木県農政部農村振興課

— 今年初めて取り組んだ地区 —

下平地区遊休農地解消組合

(那珂川町 健武下平地区)

6月26日
実施

数年来放置されていた竹やクズが生い茂る休耕地を「そば畑」にするため、39名の応援団や森林組合、地元の方々総勢70名が参加して蒸し暑く厳しい中、雑草の刈り取りや牧柵の撤去、竹の粉碎を行いました。作業後はおにぎりや豚汁そして馬頭特産のししまる（イノシシの肉）を使ったメンチカツなどで歓迎していただきました。この後そば生産組合で作業が行われ、秋にはそばの花が一面に咲き乱れました。



下秋山町会

(佐野市 下秋山地区)

11月13日
実施

高齢化がすすみ長い間耕作放棄された農地が、各所でイノシシや鹿の隠れ家となり被害が拡大しています。県内外からの夢大地応援団・森林ボランティア51名と地元の方々・関係者を含め総勢108名で、4ヵ所(1.1ha)の草刈り・雑灌木の伐採を行いました。作業後は東京農工大の方からイノシシ等の実態調査結果を聞いた後、おにぎりや豚汁等で歓迎していただき交流を含めました。



— 継 続 地 区 —

下彦間地区 むらづくり推進協議会

(佐野市 下彦間地区)

8月22日
実施

カタクリの復活を目指した夢大地応援団活動も3回目を迎えました。篠竹の刈り取り適期のこの時期は例年にもまして暑さが厳しく過酷な状況でしたが、18名の応援団、関係者10名そして13名の地元の皆さんが参集して、篠竹や下草刈りを行いました。作業後は地元「須花坂ソバレストラン」で美味しい手打ちソバをご馳走になりながら、感想やカタクリの花見への期待などを話し合いました。



関谷上の内むらづくり推進協議会

(那須塩原市 関谷地区)

9月5日
実施

関谷上の内地区における活動は4回目となります。快晴で残暑厳しいなか時折涼しい風が吹き、赤とんぼが見られる里山で応援団9名と地元協議会の皆さん・関係者20名で、玉石積水路内のゴミや雑草とり・土手の草刈り等、親水水路の清掃を行いました。作業後は地元のご好意でリング狩りと交流センターで地粉を使った「田舎うどん」等をご馳走になり親睦と交流を深めました。



大木須むらづくり推進委員会 木須川を愛する会

(那須烏山市 大木須地区)

オオムラサキやホタルの保全活動を行っている大木須における応援団活動は2年目を迎えました。NPO法人ナルク栃木、宇都宮大学そして近隣的那珂川町や小木須自治会、地元及び市役所等を含め総勢50名以上の方々が参加しました。時折雨が降る中での作業でしたが休耕田の草刈りとそば刈りを行いました。作業後は新米のおにぎりや豚汁をご馳走になり、ボランティアに提供された地域通貨は11月のそば祭りにも使用され交流へと繋がりました。

10月9日
実施



和田用水ホタルの里の会

(鹿沼市 中粕尾地区)

6回目となる「夢大地グラウンドワークinかすお」は県内外から夢大地応援団を始め、ホタルの里支援団、鹿沼南高校生、地元老人会、女性組織、子供会など様々な方々89名が参加して水路に繁茂している外来水草「コカナダモ」の除去や草刈り、休耕田に小松菜の種まきそして水路内の生き物調査を行いました。昼食は新米のおにぎり、けんちん汁に加えバイキング方式で数多くの地元料理が用意され、心のこもったお袋の味を堪能させていただきました。

9月26日
実施



芦野の里づくり委員会

(那須町 芦野地区)

昨年作業した館山周辺は応援団活動をきっかけに地元で整備し「館山城跡展望台」ができあがりました。2年目を迎えた今年は総勢39名の方が参加して「遊行柳」と湯泉神社周辺の景観整備です。草刈りは茅や笹が生い茂り苦労をしましたが快晴にも恵まれ心地よい汗をかきました。交流会では猪鍋をご馳走になり、更に地元の環境保全米と地域通貨「500ゆめ」をプレゼントされ、きめ細やかなおもてなしに感動しました。

11月6日
実施



国見自治会・国見棚田保全組合

(那須烏山市 国見地区)

応援団活動は今年で6回目となり、毎年草刈りを行っているため、参加者から「雑灌木類が少なくなり作業が容易で物足りない」との声が聞かれるほど成果が実っています。大半がここ数年参加されている方々で応援団員23名と隣接自治会、地元等総勢46名で棚田西側の急斜面の下草刈りを行いました。作業後は名物の「すいとん」をご馳走になり、地域通貨「ゆめ」でみかん狩りを楽しみました。

11月6日
実施



虹色の里あじ彩協議会

(茂木町 河又地区)

11月7日
実施

5回目の今年は、応援団・森林ボランティア20名、バンビーニゆめ保育園(宇都宮市)の親子46名等総勢78名が参加しました。農村レストラン「虹色の里あじ彩」に隣接した里山の見はらし台の草刈り・遊歩道の整備、園児親子はアジサイの剪定や花のリースづくりを体験しました。おにぎりやいも煮・米粉ピザ等の昼食をおいしくいただくとともに、地域通貨で地元の米やしいたけ・野菜を買い求めています。



文挾ため池 ふれあいの里づくり協議会

(日光市 文挾地区)

11月14日
実施

長年の活動が認められ今年3月「とちぎの環境美化県民運動」で知事表彰を受賞しました。夢大地応援団活動としては3回目を迎えますが、24名の応援団と地元の方24名等総勢48名が参加して、ため池の浚渫と周辺の草刈り・枯松の伐採そして地域のシンボルである休耕田への菜の花種まきを行いました。特にため池の泥上げは重労働で若い人が奮闘しました。昼食は地元女性会の心づくしの料理をいただきました。



小貫焼森の里づくり協議会

(茂木町 小貫地区)

11月21日
実施

活動4回目を迎えた今年は、焼森の里入口付近の斜面に約40本のヤマツツジと200株の熊笹を植栽しました。参加者は応援団員21名と地元協議会員・関係者の総勢46名で、足場が不安定な中での作業でしたが安全に注意していねいに植え付けました。昼食は定番のけんちんそばをいただきながら意見交換を行い、いただいた地域通貨「ゆめ」で帰り際に「いい里さかがわ館」で農産物を求めていました。



※活動の詳細は農業振興公社ホームページ(とちぎ夢大地応援団の案内)でご覧ください。

応援団活動の支援



- ジュニア育成活動・初めて取り組んだ地区は、県と農業振興公社が会員の募集・活動の支援を行っています。
- 2年目からの自主活動の継続地区は、農業振興公社が活動資金の原資を支援しています。

とちぎ夢大地応援団事務局

(財) 栃木県農業振興公社

〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13

TEL 028-648-9511 FAX 028-648-9517

栃木県農政部農村振興課

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20

TEL 028-623-2334 FAX 028-623-9337

<http://www.tochigi-agri.or.jp/yumedaichiouendan/index>